

スポーツの力が世界を動かした ～『ピンポン外交』発祥の地～

2021年8月 初代課長.

2021年夏、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されました。

206の国と地域が参加し、スポーツで世界がつながりました。

ここ愛知にも、スポーツの力が世界を動かした、そんな歴史的な場所があります。

① 小さなピンポン球が大きな地球を動かした『ピンポン外交』

1971年春、**愛知県体育館**で開催された「第31回世界卓球選手権大会」で、中国とアメリカの選手同士の交流をきっかけに、大会後アメリカチームが中国に招待されました。それは20年以上途絶えてきた中米関係の改善、中日国交正常化へと繋がり、「小さなピンポン球が大きな地球を動かした」『**ピンポン外交**』と呼ばれています。

② 『ピンポン外交』から半世紀。交流を未来へとつなげる卓球大会

8月25日(水)、『**ピンポン外交**』から半世紀50年を記念した卓球大会が、50年前と同じ会場「**愛知県体育館**」で開催されました。

残念ながら無観客での開催でしたが、大会には、一般公募でご参加された方や、大学生・在日中国人の方のチームなど、約200人が参加しました。

参加した皆さんはとても卓球が上手。和気あいあいとした雰囲気の中なかでもスピード感のある力強いラリーが続いていました。

 2021年8月26日 中日新聞 報道 <https://www.chunichi.co.jp/article/318177>

愛知県体育館の第一競技場。50年の時を経ても、その面影は変わりません。



50周年記念卓球大会 (2021年8月)



第31回世界卓球選手権大会 (1971年3月)

③ 『ピンポン外交』発祥の地・愛知県体育館

『ピンポン外交』の舞台となった「**愛知県体育館**」は、地下鉄名城線「市役所駅」の7番出口から徒歩5分、名古屋城の旧二の丸御殿跡に位置しています。

夏に大相撲名古屋場所が開催される県立体育館で、B.LEAGUE・名古屋ダイヤモンドドルフィンズのホームアリーナとして「**ドルフィンズアリーナ**」と呼ばれています。歴史ある**愛知県体育館**の魅力については、また別のコラムでご紹介できればと思います。

🏠 **愛知県体育館ホームページ** <http://www.aichi-kentai.com/>

④ 『ピンポン外交』記念モニュメント

愛知県体育館に立ち寄られた際には、ぜひ『**ピンポン外交**』記念モニュメントを見てください！

モニュメントは、**愛知県体育館**の西側、正面の「壁」にあります。

タテ3m、ヨコ7mの大きな陶板です。

現地で見てほしい 3つのポイント

- 1 愛知県出身の現代美術家による「**水墨画**」をイメージした全体デザイン
- 2 日本と中国の書家が書いた「**平和**」「**友好**」「**愛**」「**夢**」の文字
- 3 日本、アメリカ、中国の国旗をモチーフにした「**ピンポン玉**」

国と国との間で対話が弾む様子を願う気持ちが表現されています。



🏠 **ピンポン外交モニュメント** <https://www.aichi-now.jp/spots/detail/920/>

愛知県体育館で、半世紀の歴史を、ぜひ感じ取ってください。

掲載サイト：愛知県スポーツ局競技・施設課

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kyougi-shisetsu/sports-column.html>